



2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

サイバートラスト株式会社
東証マザーズ:4498
2022年1月25日

Agenda

1. 2022年3月期 第3四半期業績概要
2. 2022年3月期 通期業績予想
3. 成長戦略
4. APPENDIX

2022年3月期 第3四半期 業績概要

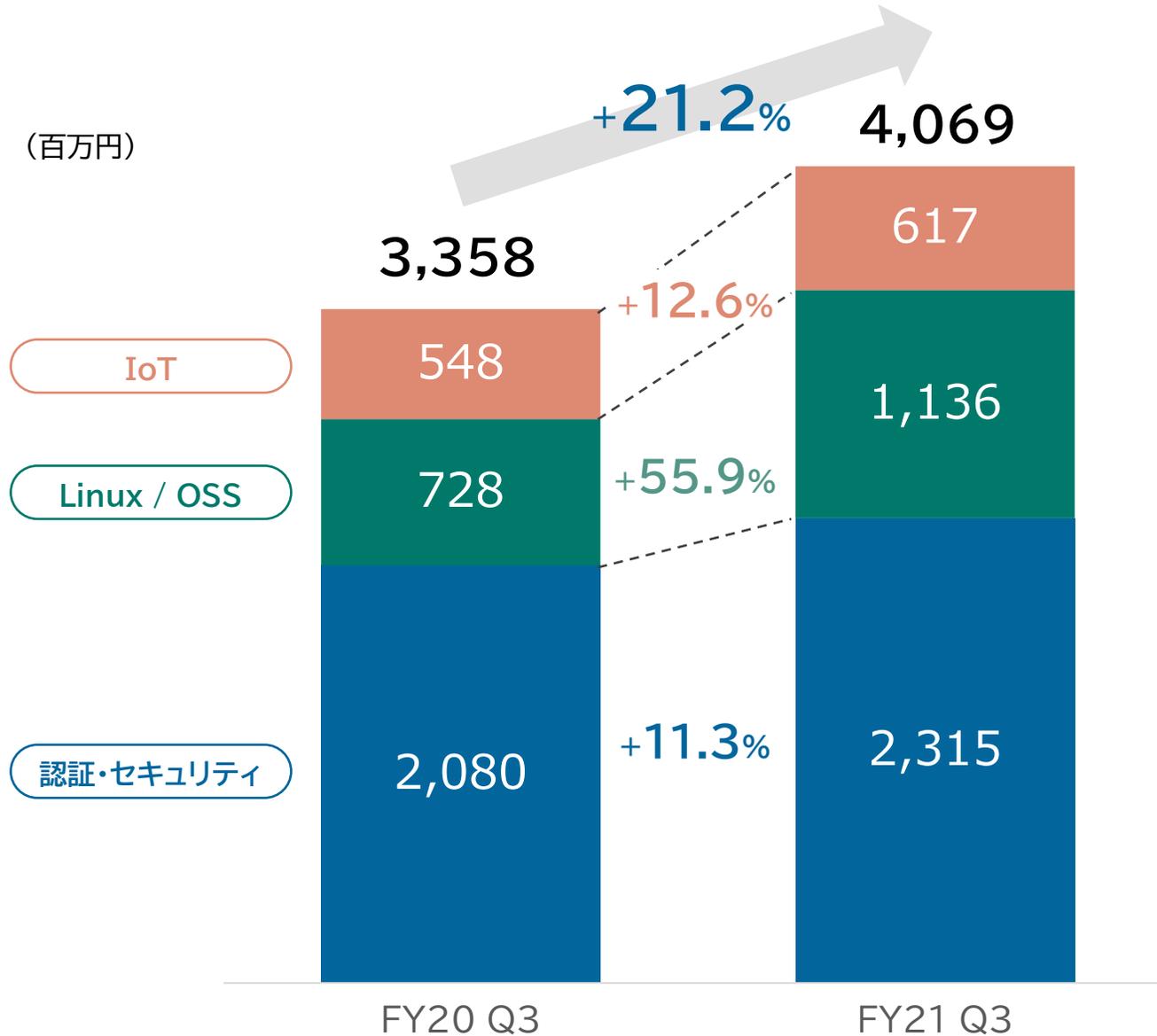
2022年3月期 第3四半期 連結業績(9か月累計)

- 全ての指標において第3四半期としては**過去最高**を記録
- 通期営業利益見通し680百万円に対する進捗率**82.7%** (前年同期進捗率**55.8%**)
- 疑似的なキャッシュフロー指標であるEBITDAも**過去最高**

(百万円)	FY20 Q3	FY21 Q3	増減額	増減率
売上高	3,358	4,069	+711	+21.2%
営業利益	320	562	+242	+75.7%
経常利益	326	558	+232	+71.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	144	370	+225	+156.1%
EBITDA	592	939	+347	+58.6%

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 資産除去債務関連費用

サービス別売上高(9か月累計)



3サービスすべてで前年同期を上回る

認証・セキュリティ

顧客のDX推進で
 端末認証・本人確認・電子署名のニーズ旺盛

Linux/OSS

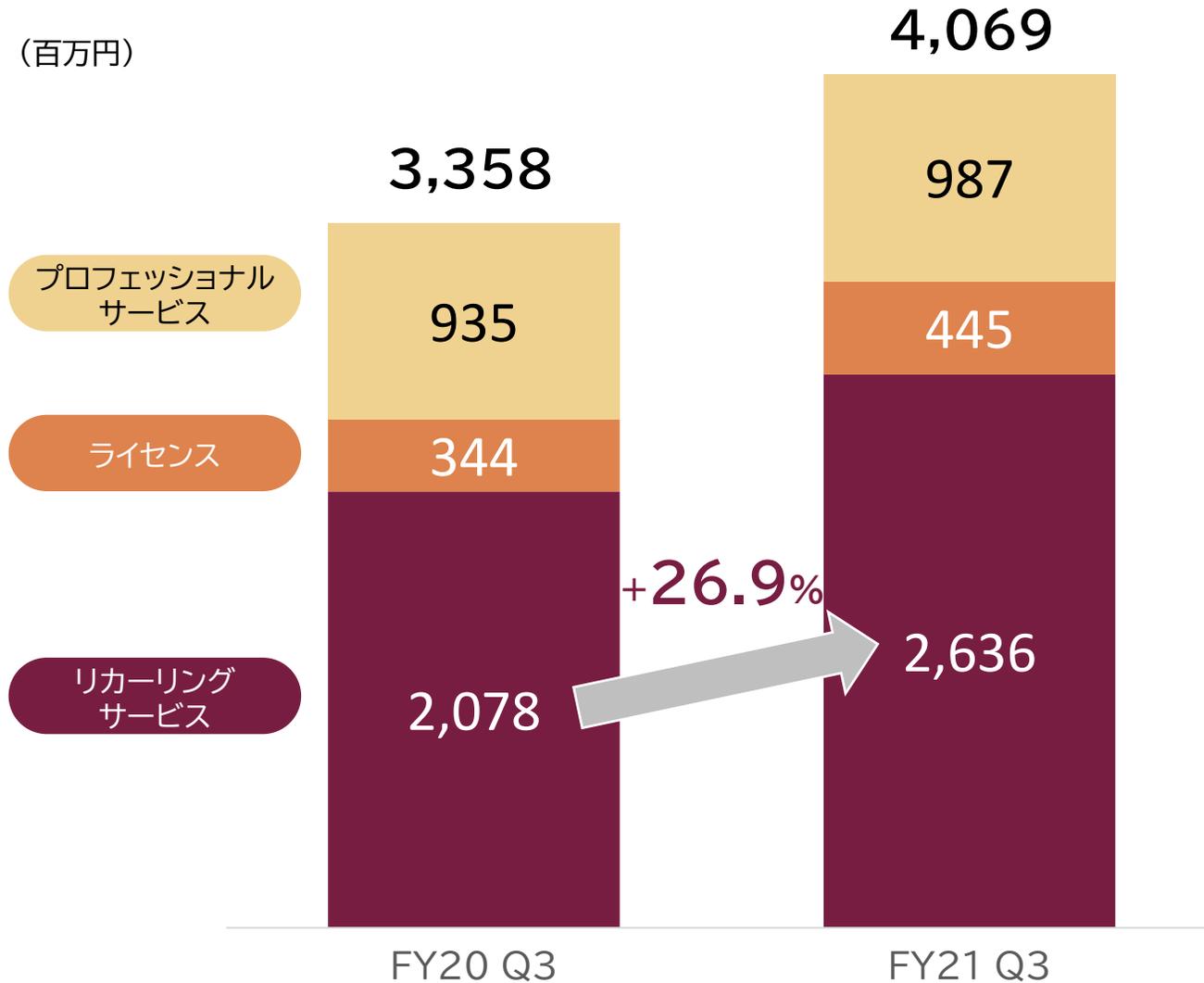
Linuxサポート案件が大きく伸長

IoT

コンサルティング案件が伸長

取引形態別売上高(9か月累計)

(百万円)

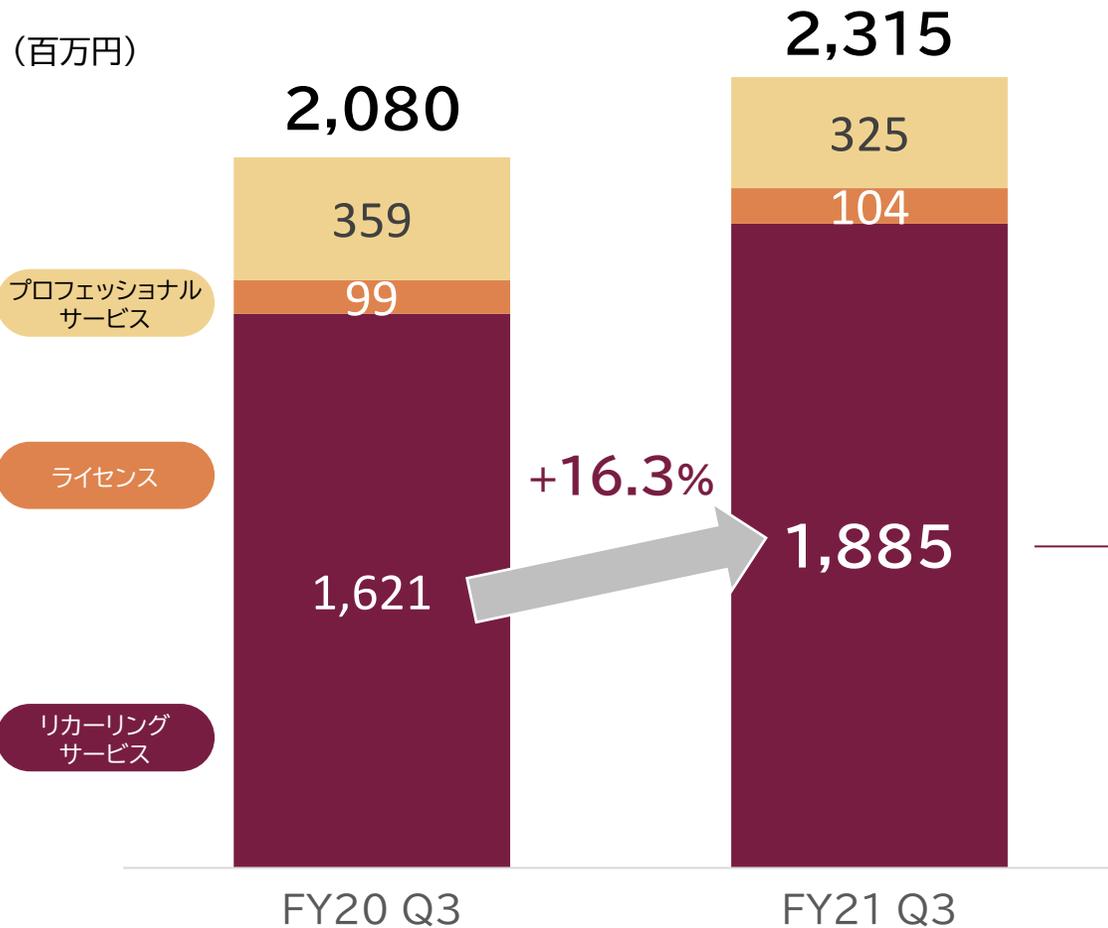


最重要指標である リカーリング売上高が 前年同期比26.9%増

認証・セキュリティとLinux/OSSが
リカーリングの売上増を牽引

プロフェッショナルサービスにおいては
IoTでのリカーリング売上の足掛かりとなる
セキュリティコンサルティングが増加

認証・セキュリティサービス 売上高(形態別)



DX推進によりリカーリング売上が前年同期比16.3%増加

デバイスID

- 企業向けのリモートアクセス、シングルサインオン等のパートナー企業との取引増加

iTrust

(1)本人確認

- 金融サービスを展開するパートナー企業での導入が拡大

(2)電子署名

- 電子契約サービスを展開するパートナー企業との取引堅調

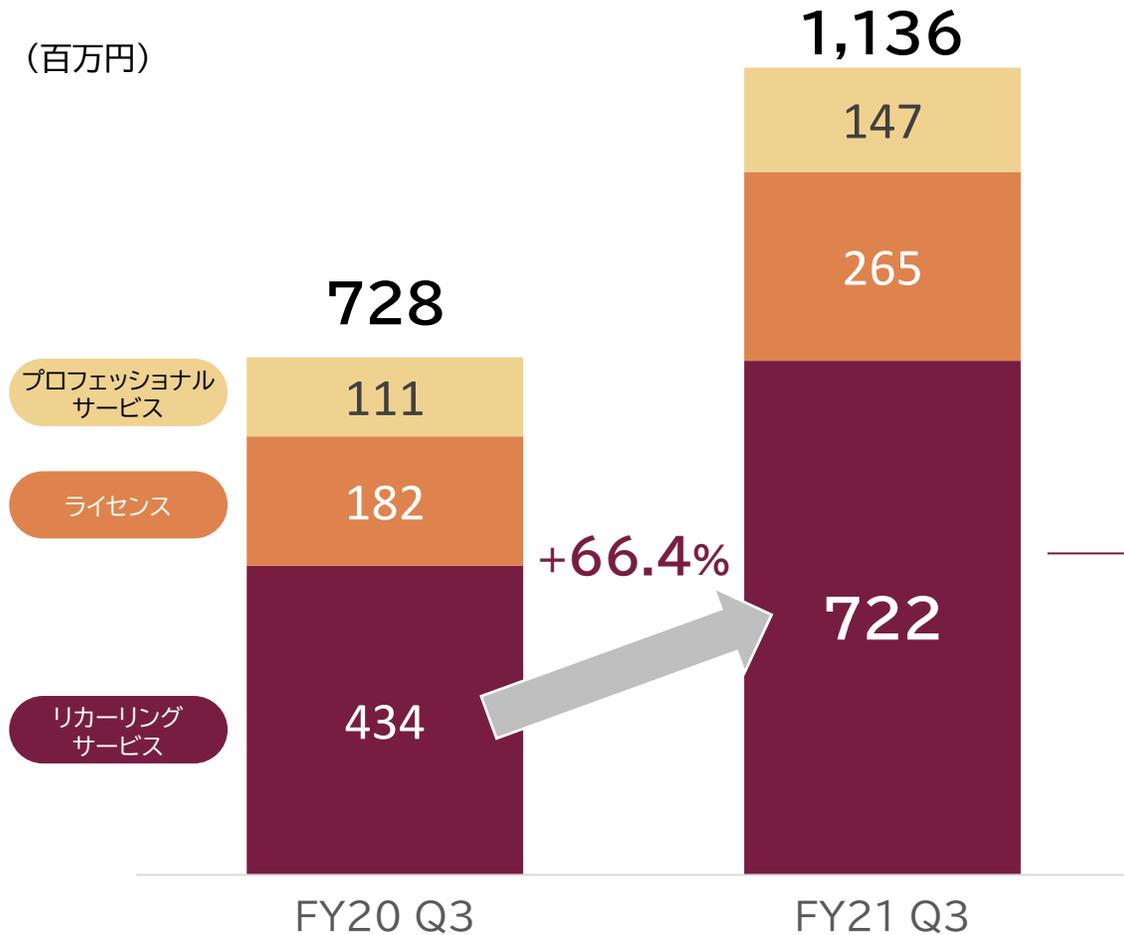
SureServer

- 業界規制による有効期間の短縮化の前年比影響は一巡
- 10~12月の売上高は前期比108%に回復

パートナー企業のサービスへの組入れが進み増収

Linux/OSSサービス 売上高(形態別)

(百万円)



リカーリング売上が 前年同期比66.4%増加

CentOS延長サポート

- CentOS 8の2021年12月末メンテナンス終了発表後、直ちに当社がサポートサービスを提供開始
- Q3も引き続き想定を上回る需要

MIRACLE LINUXサポート



- 通信事業者のサーバへのMIRACLE LINUX導入が進みサポート売上が拡大
- バージョン8.4のサポート契約締結及び引き合い増加

MIRACLE ZBX

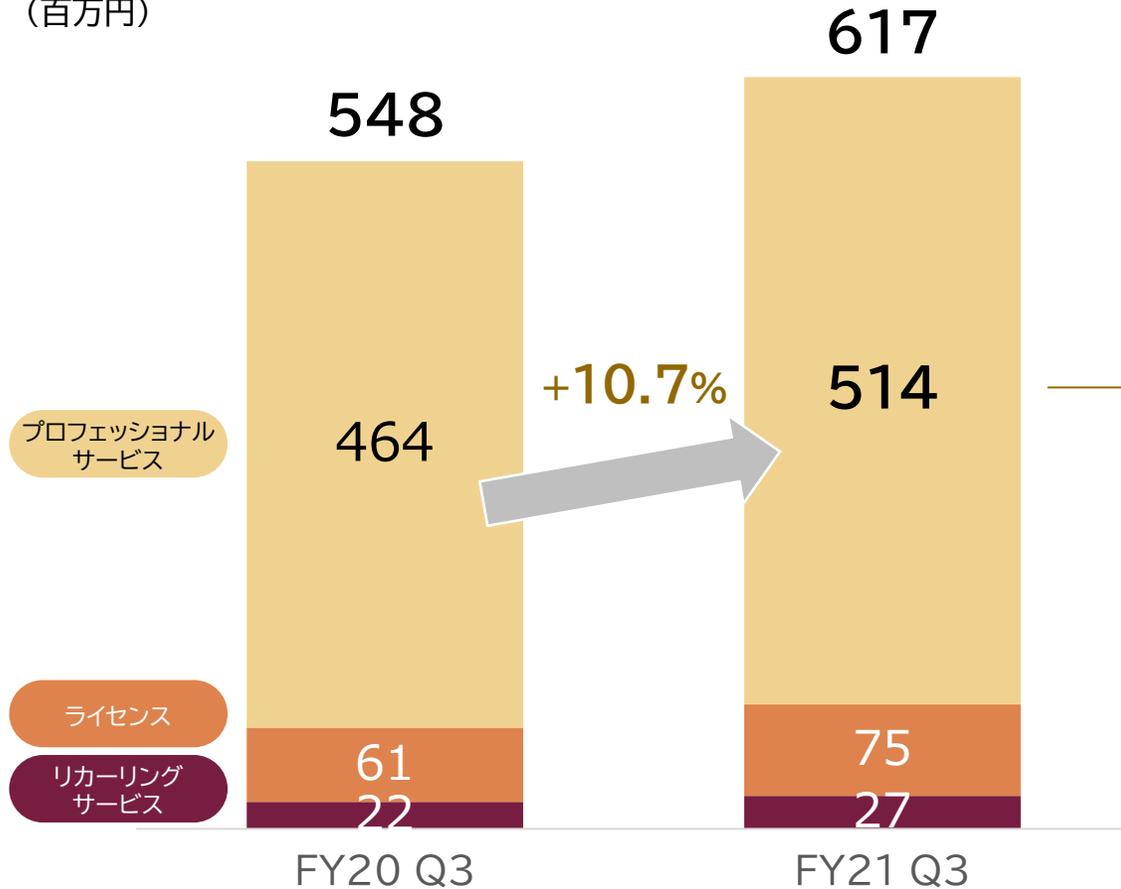


- 通信事業者、グローバル製造業においてLinuxシステム統合監視のニーズ拡大
- 新規大型案件の長期サポート契約を複数受注(導入時の構築、ライセンスも受注)

CentOSの駆け込み需要に加えて自社製品のサポート契約が伸長

IoTサービス 売上高(形態別)

(百万円)



リカーリングの足掛かりとなるプロフェッショナルサービスの案件獲得に注力

セキュリティコンサルティングの伸長

- 自社リカーリングサービス「EMLinux」「SIOTP」導入の足掛かりとしてセキュリティコンサルティングを推進
- 当社はIoT機器のセキュリティの国際安全基準への適合状況を評価、対応に関する専門知識を有するためコンサルティング案件が増加

受託開発案件は期初計画を下回って推移

- 半導体供給不足により製造業顧客の新製品開発スケジュールの見直しが相次ぎ、当社の組込受託開発案件も想定どおり進まず

受託開発案件は期初計画を下回りつつも回復基調

2022年3月期 通期業績予想

(百万円)	FY20	FY21 期初見通し (4/23)	FY21 前回見通し (10/26)	FY21 今回見通し	前回見通し比	
					増減額	増減率
売上高	4,895	5,396	5,550	5,550	±0	±0%
営業利益	574	586	680	700	+20	+2.9%
経常利益	715	596	680	700	+20	+2.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	408	395	450	463	+13	+2.9%

- 認証・セキュリティサービス、Linux/OSSサービスともにリカーリング売上が想定以上に伸長していることを踏まえ上方修正する
- 組込受託開発の不透明さは依然残るためQ4に見極めを行う
- 翌期以降の成長を見据えた研究開発投資をQ4に実施

成長戦略

～電子契約、マイナンバーカードを用いたeKYC(電子的本人確認:銀行・証券口座開設やQRコード決済)が主要なターゲット～



主要なVARパートナー

KDDI、HENNGE、SBテクノロジー

弁護士ドットコム、大日本印刷、日立製作所、日鉄ソリューションズ

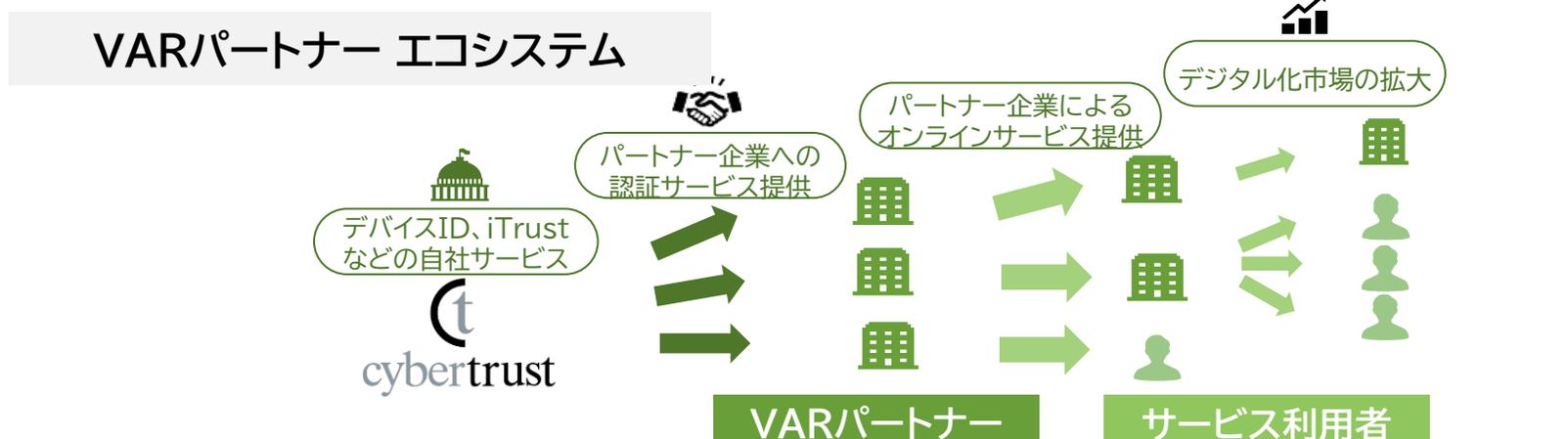
FY21 Q3の進捗

新規提携 VARパートナー

iTrust	Liquid(eKYC)
	都築電気
	ITbook Cloud
	TeraDox

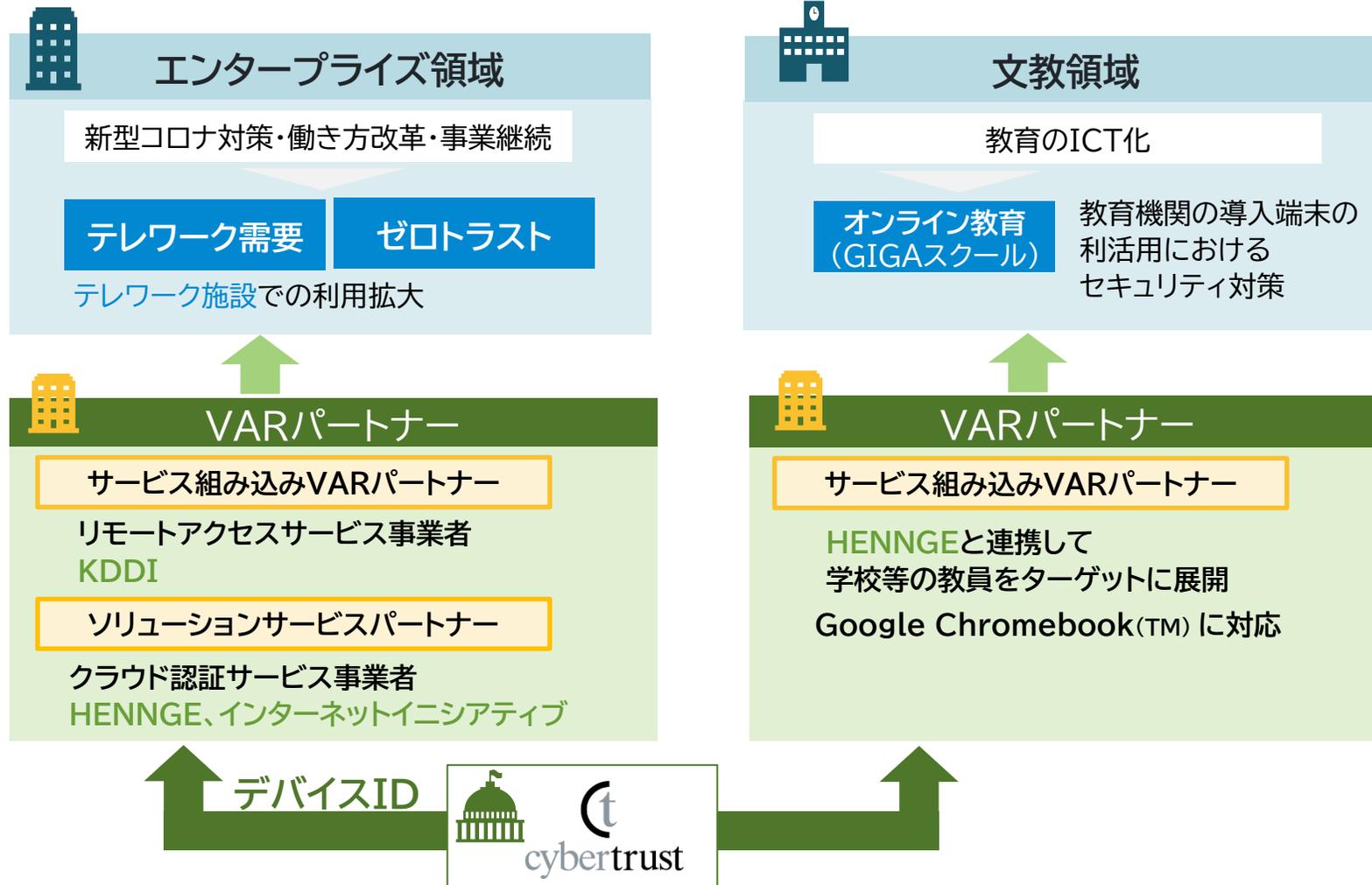
Q3累計期間 売上実績

デバイスID	前期比 125%
iTrust	前期比 229%



VAR (Value-Added-Reseller:付加価値再販業者)

DXに必要な不可欠なトラストサービスをパートナー経由で幅広く提供



- FY21 Q3の進捗**
- 「Microsoft Intune」でのデバイスIDの取扱開始(2021年12月)
 - 企業の安全なテレワークやクラウドサービス利用のためO365などと共に使用される「Microsoft Intune」での**デバイス管理**においてデバイスIDの取扱いが開始
 - **新機能**「デバイス ID Premium」提供開始(2022年1月)
 - 従来のVPN機器との連携に加え、パートナーの**ゼロトラストソリューション**との連携が可能になりデバイスIDの活用領域が拡大

テレワーク需要、ゼロトラストで必要な端末認証サービスをVARパートナーを通じて提供

本人確認

マイナンバーカード(公的個人認証)を用いた本人確認サービス

銀行口座開設 オンライン本人確認	スマート決済
証券口座開設 オンライン本人確認	シェアサービス登録

電子署名

電子署名用証明書、リモート署名サービス

企業間電子契約	銀行法人融資契約
不動産賃貸契約 重要事項説明書	住宅ローン契約
控除証明書電子化	電子インボイス

iTrust の信頼性を裏付ける認定取得、外部機関の監査合格

- ・主務大臣認定公的個人認証プラットフォーム事業者
- ・WebTrust for CA
- ・Adobe Approved Trust List Program
- ・JIPDEC トラストサービス(リモート署名/電子契約) など



FY21 Q3の進捗

新規提携VARパートナー

- Liquid(2021年11月) 本人確認
金融サービスやシェアリングサービスに提供されるLiquid の本人確認サービスに公的個人認証、IC読取を連携
- 都築電気 (2021年10月) 電子署名
電子契約サービス「DagreeX」に採用
- TeraDox (2021年12月) 電子署名
電子契約サービス「契約大臣」に採用
- ITbook Xcloud(12月) 電子署名
電子契約サービス「DX-Sign」に採用

デジタル化、DX推進に必要な「本人確認」「電子署名」の仕組をパートナーに提供

～サーバーを多数有する大規模事業者が主要なターゲット～

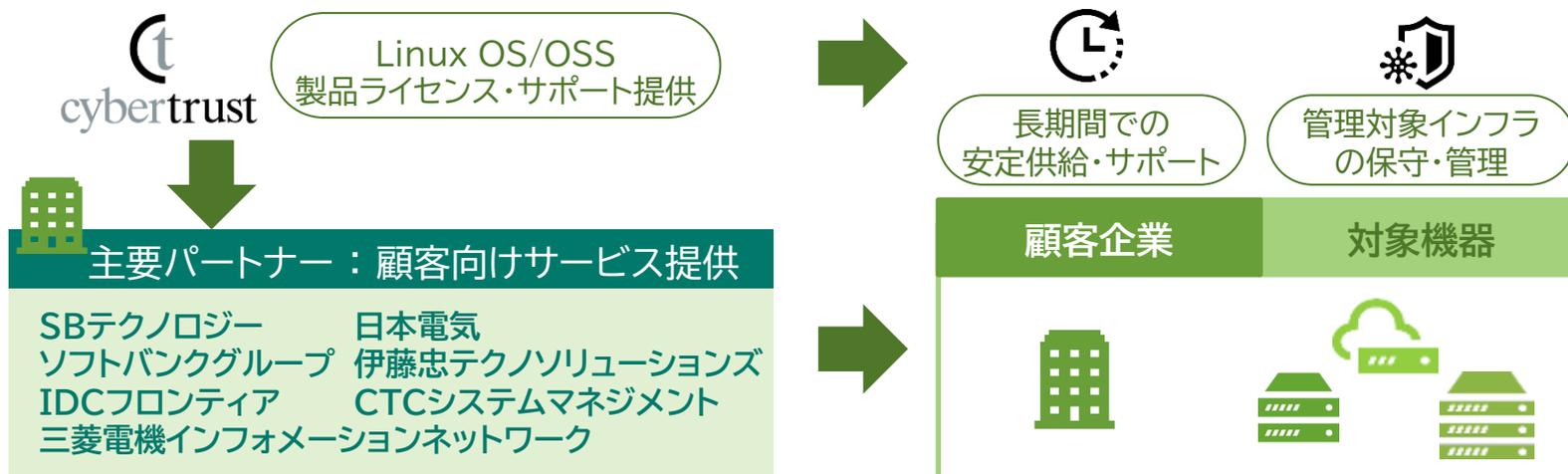
成長戦略を担う製品・サービス



- CentOSの後継OSとしてMIRACLE LINUX 8.4を公開
- 有償サポート提供によりリカーリングを伸ばす
- パートナー拡充



- 大手企業の情報システム部門のDX化に向け提供することでリカーリングを伸ばす



FY21 Q3の進捗

- CentOSの延長サポート需要の好調が継続
- MIRACLE LINUX 8.4 公開後約3カ月で、累計3.2万ダウンロードと市場から好反応
- ML新規パートナー候補の引き合い増加

Q3累計期間 売上実績

	前期比 159 %
	前期比 139 %

重要インフラを抱える顧客企業のサーバー保守運用ニーズへの対応強化

～通信や金融などの事業者が主要なターゲット～

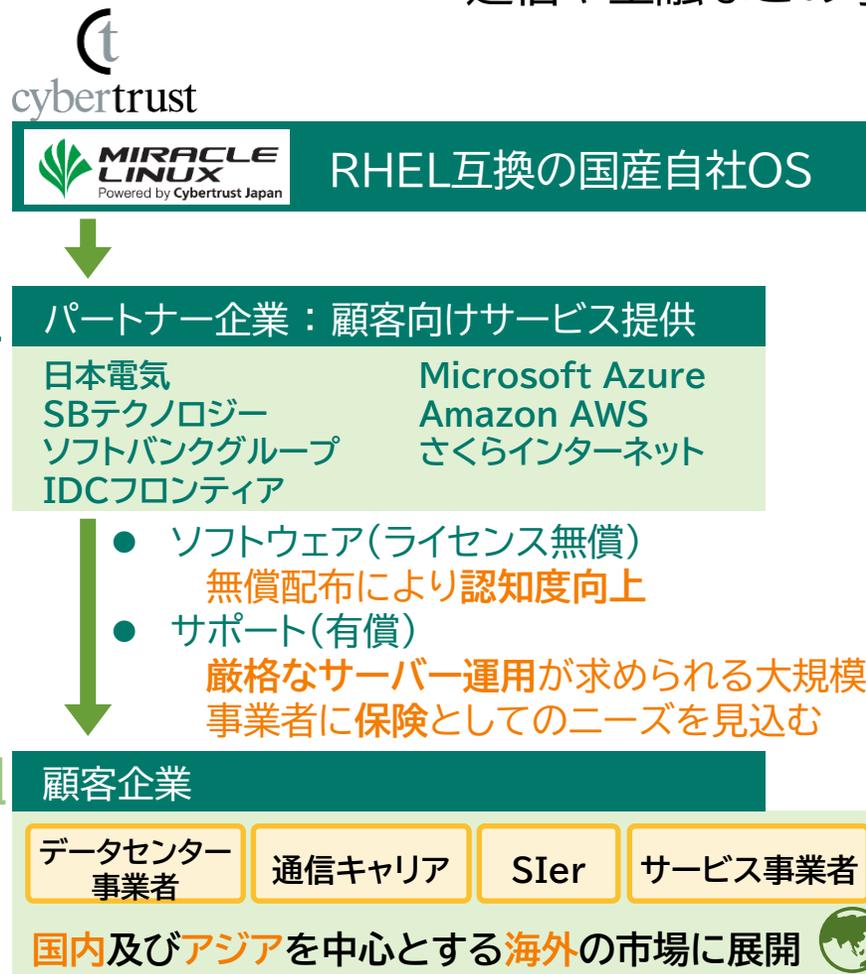
CentOSサポート終了の発表

2020年12月発表
2021年12月サポート終了

CentOSユーザーによる
後継OSの検討

後継OSとしての MIRACLE LINUX の特長

- ① CentOSと同様の機能 (RHEL※クローン)
- ② 21年の実績
- ③ 長期サポートにコミット
- ④ 日本における対応



FY21 Q3の進捗

- ソフトバンクが運用するサーバーのうち1万台をCentOSからMIRACLE LINUXに移行決定 (2021年12月)
- さくらインターネットのクラウドで提供開始(2021年10月)
- MIRACLE LINUX 9 の無償公開を決定 (2021年12月)
- 更新版の継続提供の表明
- 2024/6にコミュニティサポート終了のCentOS7の延長サポート提供を決定 (2021年12月)

～大手企業の情報システム部門が主要なターゲット～

CentOSサポート終了の発表

2020年12月発表
2021年12月サポート終了

企業の情報システム部門での
サーバー運用が困難に

システム監視サービス
のニーズ拡大

今後は企業内システムの
サイバーセキュリティ監視
のニーズも取り込む



サーバーシステム監視と
脆弱性管理を一括サポート



- サーバー等情報機器の死活監視/状態監視
- OSSではデファクトのため顧客基盤に安定感
- サイバーセキュリティ対策に向けた脆弱性管理を機能拡張



パートナー企業：顧客向けサービス提供

伊藤忠テクノソリューションズ
CTCシステムマネジメント
SBテクノロジー
三菱電機インフォメーションネットワーク 他



顧客企業：大手企業の情報システム部門

データセンター事業者

通信キャリア

Sier

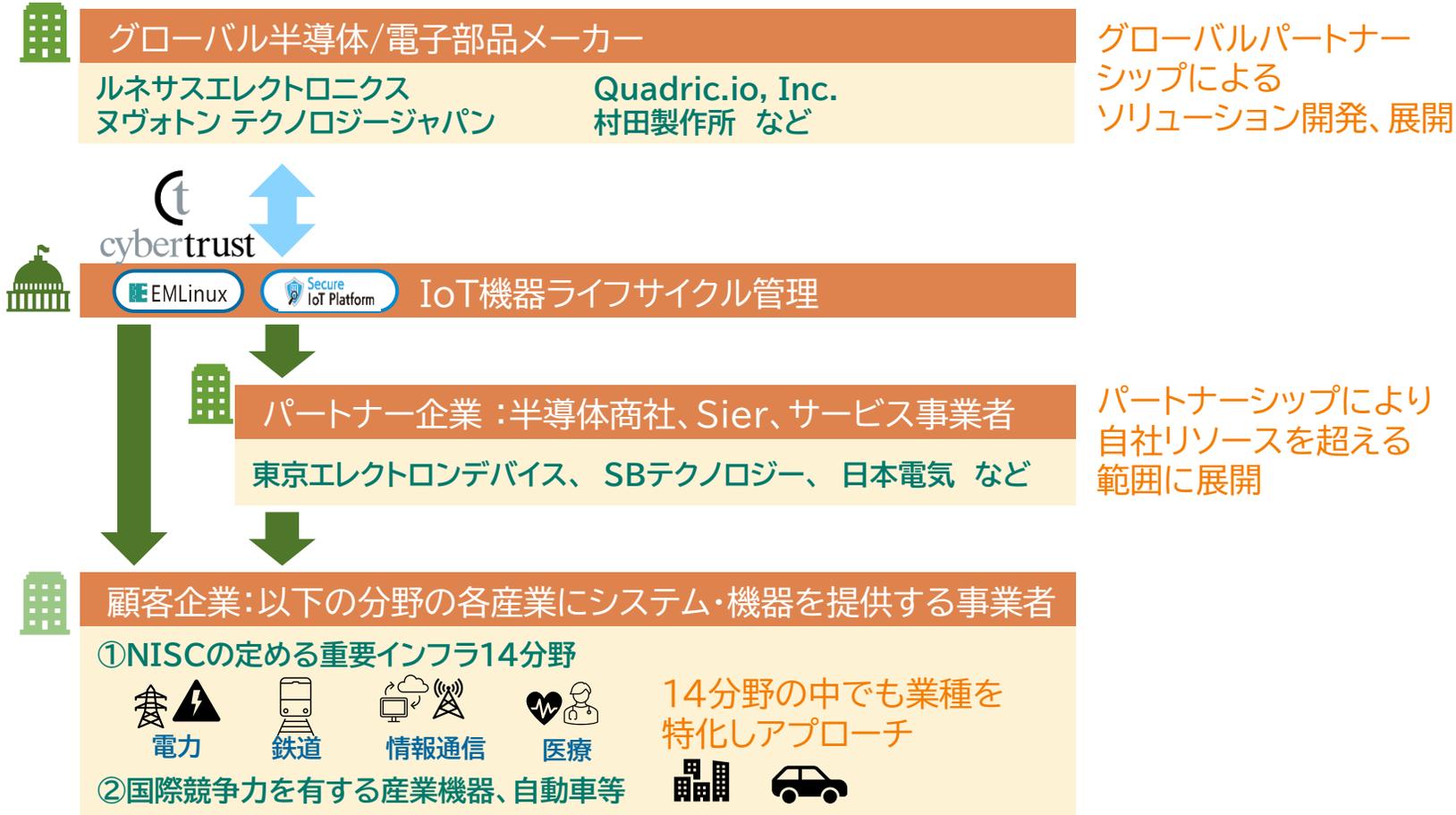
サービス事業者

FY21 Q3の進捗

- 新規の通信事業者の大型案件の獲得と導入開始
- 既存・新規パートナー経由で新規案件2件獲得
- 脆弱性管理機能の拡販に向けた販売チャネル開拓進行

OSSデファクトのサーバー監視ソリューションに脆弱性情報の一元管理を機能拡張し成長加速

～ NISC※の定める重要インフラ14分野および国際競争力を有する産業機器、自動車等が主要なターゲット～



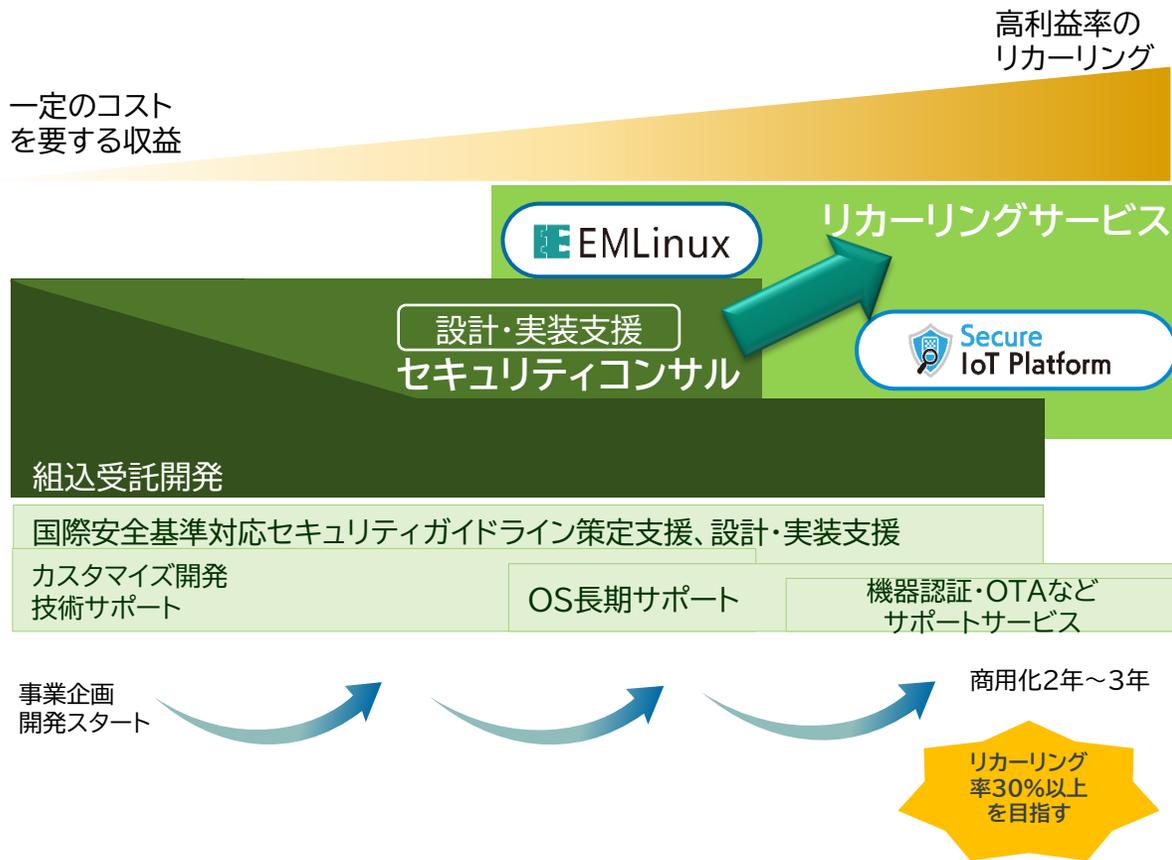
グローバルパートナーシップによるソリューション開発、展開

パートナーシップにより自社リソースを超える範囲に展開

FY21 Q3の進捗

- 急成長するエッジ AI 環境に求められるサイバーセキュリティ国際規格に対応した新パッケージをQuadric.io, Inc.の開発キットとともに提供開始 (2021年11月)
- Qualcomm Technologies, Inc.のスマートシティ向け5G IoTソリューションの開発でSBTと共に協業 (2022年1月)
- Tuxera Inc.の高信頼性ファイルシステムの販売代理店契約を締結 (2022年1月)

ターゲット分野に対しグローバル半導体メーカーとパートナーシップを組んでアプローチ



FY21の注力活動

IoT機器の
国際安全基準準拠
に向けた啓発活動

国際安全基準
準拠に向けた
セキュリティコンサル

EMLinux、SIOTP
導入に向けた
組込受託開発

FY21 Q3の進捗

- EMLinux、SIOTPが一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会の定める産業機器向け国際標準準拠(国際安全基準レベル)のセキュリティ基準に適合(2021年10月)
- 顧客製品の設計・実装に向けたセキュリティコンサルの引き合い増加
- 重要インフラ向け制御機器事業者へのセキュリティコンサル案件など2件獲得
- 半導体不足影響も自動車、産業機器案件の受注状況は部分的に回復
- 国際安全基準適合の製品化を前提としたEMLinux評価開発案件の受注

セキュリティコンサルを将来のリカーリングサービスの成長につなげる



Appendix

サイバートラストが解決する課題と提供価値

デジタルトランスフォーメーション(DX)の時代に必須の
トラストサービスを提供

社会のデジタルシフト

デジタル化における課題

なりすまし
(ヒト・モノ)

不正アクセス
(ヒト・モノ)

盗聴

改ざん



- 国内最長の電子認証局運用実績
- 国内で最も高い組込みLinux技術
- 組込み・IoT技術

真正性

本人性

責任追跡性

実在性

信頼性

完全性

ヒト・コト・モノをつなげる
安心・安全の
新社会基盤

安心・安全なデジタル社会

認証セキュリティとLinux/OSSの技術を組み合わせることにより
DXの課題解決に向けた独自のトラストサービスを提供



デジタル社会の身分証である電子証明書、電子的本人確認・電子署名などのトラストサービスを提供

国内初の商用電子認証局かつ国際的な監査規格に合格した電子認証局の運営実績

当社の提供する、
認証・セキュリティサービス

**現実社会の
証明書**

- 運転免許証
- パスポート
- 印鑑証明書



**デジタル社会の
証明書**

- 電子証明書
- 電子的本人確認や電子署名

サーバー証明書
(SureServer)

ウェブサイトの実在性
 SureServer Prime

デバイス証明書
(デバイスID)

業務利用許可端末の認証

ユーザー証明書

従業員・会員などの認証

iTrustサービス 電子取引の信頼性を担保

- 電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律第17条第1項第6号の規定に基づく総務大臣認定事業者

行政が保証

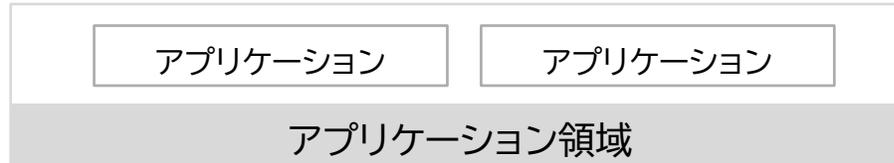
書面や郵送などでの手続き

電子認証局が保証

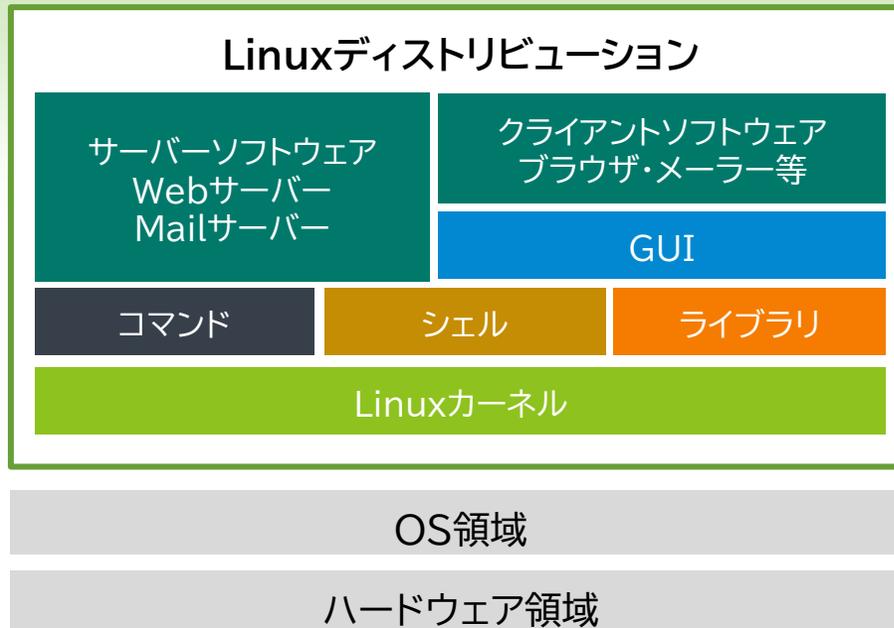
申請者の本人確認・証明書の発行・発行済証明書の管理を行う機関。当社は国内初の商用電子認証局を20年以上に渡り運営。

グローバルOSSコミュニティで活躍するエンジニア集団による 国内唯一のLinux/OSSディストリビューター

一般的なSier



OS上にアプリケーションシステムを構築



Linuxカーネルに必要な機能を組み合わせ
Linuxディストリビューションとして提供・サポート

重要システムで多数の採用実績

航空管制システム、産業機器、通信インフラ、
自動車、電車車両など

10年以上の長期サポートに対応

*OSSコミュニティでのサポートは5~6年で終了

*生産、販売終了から5~9年の製品の補修用性能部品の保有期間に対応

実績の自社製品群

サーバー監視、脆弱性管理、セキュリティ、IoT向けLinux



IoT機器向けLinux OSの提供から、認証、ライフサイクル管理までを提供する技術力

IoT機器をセキュアに動かす
Linux/OSS 技術

自社製品

 EMLinux

- IoT機器に対して脆弱性アップデートを10年間提供(延長可能)

IoT機器の真正性確認をする
認証・セキュリティ 技術

自社サービス

 Secure IoT Platform

セキュアIoTプラットフォーム(SIOTP)

- IoT機器の安全性を担保、真正性を認証し長期のライフサイクル管理を提供
- OTAアップデート、セキュアブートなどクラウド環境で必要なサイバーセキュリティ対策を網羅

IoT機器のライフサイクル管理を実現する
IoT機器/クラウド連携 技術



全ての技術をトータルで提供できる世界でも稀有な会社

IoT機器製造と運用における国際基準に対応 (IEC62443/NIST SP800/FIPS140-3/WP29-ISO21434 など)

会社情報

商号	サイバートラスト株式会社 Cybertrust Japan Co., Ltd.
設立	2000年6月1日
役員体制	代表取締役社長 眞柄 泰利 取締役副社長 北村 裕司 取締役副社長 佐野 勝大 取締役 香山 春明 取締役 清水 哲也 社外取締役 築田 稔 社外取締役 広瀬 容子 社外取締役 田島 弓子
資本金 (2021年12月31日 現在)	794,057千円
主な株主 (2021年12月31日 現在)	SBテクノロジー株式会社 日本電気株式会社 株式会社オービックビジネスコンサルタント 株式会社ラック 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 株式会社日立製作所 株式会社サンブリッジ セコム株式会社 大日本印刷株式会社 株式会社大塚商会
事業所	本社(六本木一丁目)、松江ラボ

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 認証サービス事業、セキュリティソリューション事業 ● Linux OS開発、OSSを活用したエンタープライズ向けソフトウェア開発、サポートおよびコンサルティング事業 ● IoT関連事業、組込みLinux関連事業
関係会社	<p><連結子会社></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リネオホールディングス株式会社 ・リネオソリューションズ株式会社 ・Cyber Secure Asia. Pte.Ltd. ・Cybersecure Tech Inc. <p><関連会社></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本RA株式会社 ・Renazon Technology (S) Pte Ltd

2021年3月期 連結PL(詳細)

連結業績(百万円)	FY18	FY19	FY20
売上高	4,168	4,421	4,895
認証・セキュリティサービス	2,534	2,818	2,925
ライセンス	183	251	126
プロフェッショナルサービス	330	480	592
リカーリングサービス	2,020	2,086	2,205
Linux/OSSサービス	1,047	1,001	1,095
ライセンス	249	274	296
プロフェッショナルサービス	171	135	182
リカーリングサービス	626	592	617
IoTサービス	586	600	874
ライセンス	59	117	118
プロフェッショナルサービス	506	475	725
リカーリングサービス	20	8	30
売上原価	2,149	2,395	2,734
売上総利益	2,019	2,026	2,160
販売費及び一般管理費	1,589	1,488	1,586
営業利益	430	537	574

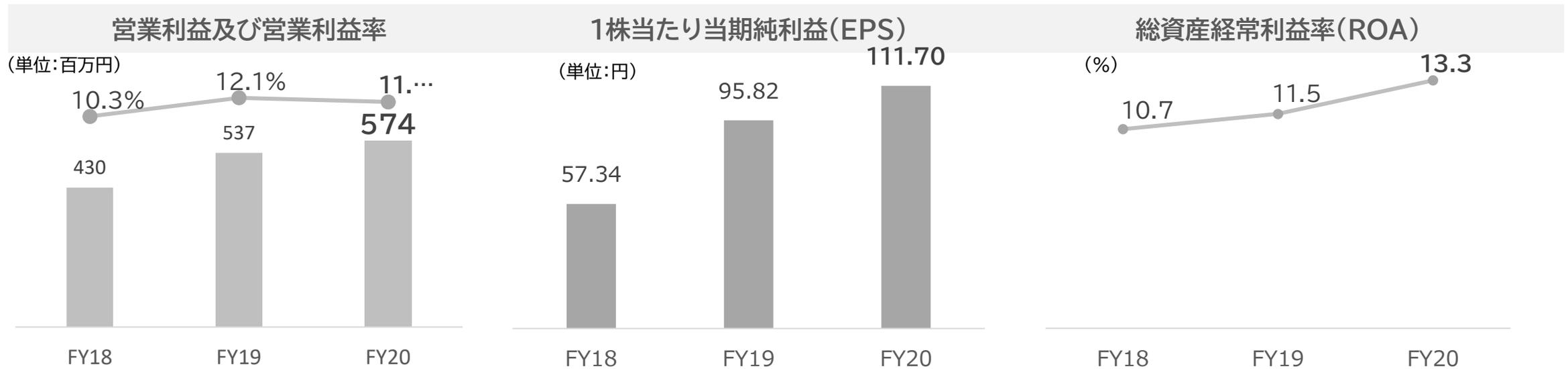
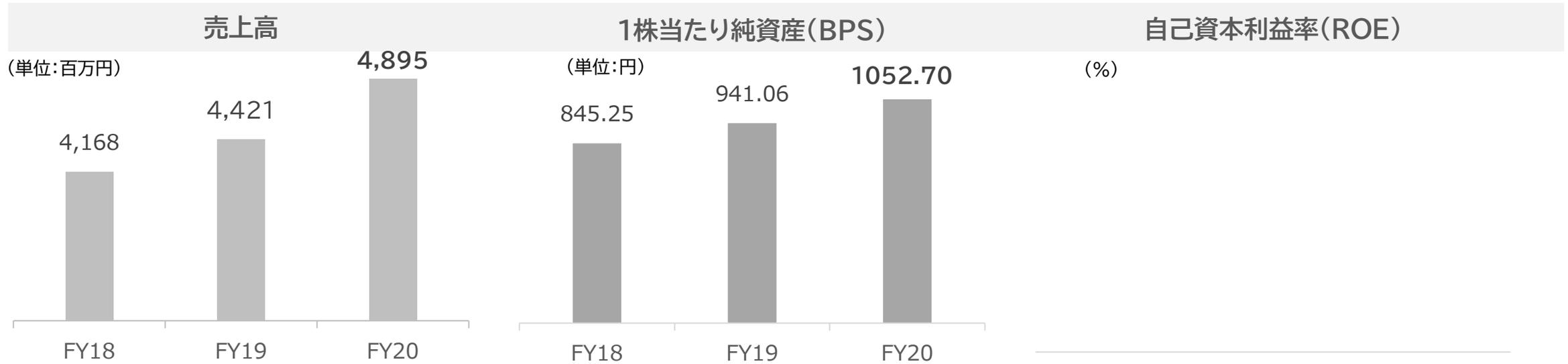
2021年3月期 連結BS



単位:百万円

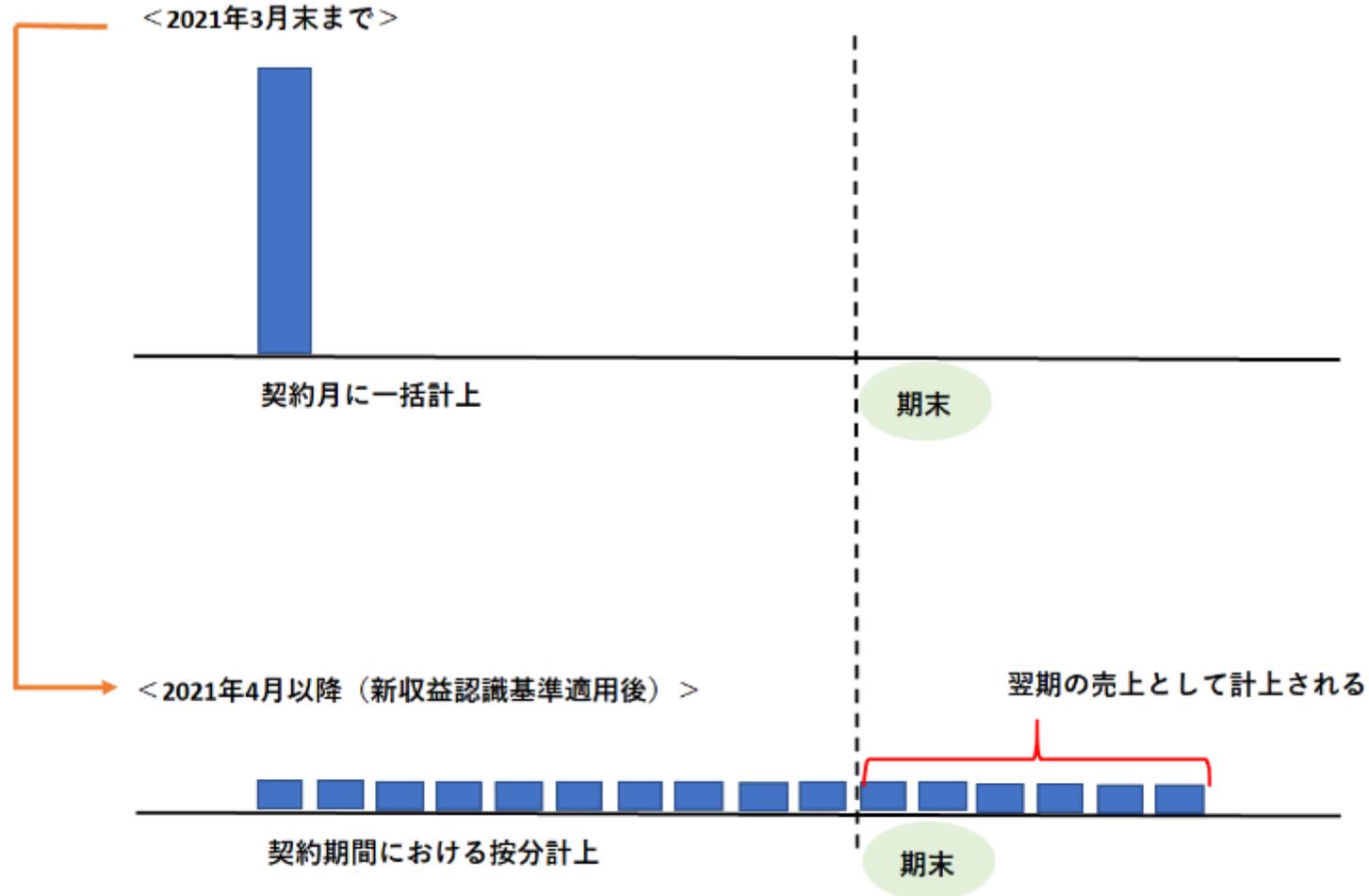
	2019/3末	2020/3末	2021/3末	前期末比
流動資産	2,647	2,822	3,124	+302
現預金	1,803	1,913	1,962	+49
受取手形及び売掛金	680	795	893	+98
固定資産	1,754	2,083	2,725	+641
有形固定資産	393	467	544	+77
無形固定資産	865	1,053	1,735	+682
投資その他の資産	495	563	444	△118
総資産	4,402	4,906	5,851	+945
流動負債	989	1,112	1,585	+473
固定負債	318	349	413	+63
純資産	3,094	3,444	3,853	+408

主な連結経営指標



(参考)新収益認識基準影響

- 2022年3月期より適用される「収益認識に関する会計基準」により、主にサーバー証明書における一部のサービスの売上は契約時点での一括計上から契約期間での按分計上に変更
(取引の状況の影響はなく、会計上の計上方法の変更)



用語	説明
電子証明書	「対象を正しく認証・特定するデジタル化された身分証明書」のことで、信頼できる第三者機関としての電子認証局が対象を審査して発行することにより、ヒトやモノなどの正しさを証明するもの
電子認証	ネットワーク上や、複数の利用者があるシステムにおいて、利用者本人であることを電子的に確認し、なりすましの防止や情報の改ざんを防ぐこと
電子認証局	電子証明書の発行や失効などを行う権限を有し、登録局(審査を実施)と発行局(発行や失効などを実施)により構成される
サーバ証明書	ウェブサイトの「運営者の実在性を確認」し、ブラウザとウェブサーバ間で「通信データの暗号化」を行うための電子証明書
EVサーバ証明書	Extended Validationの略称。世界統一の厳格な審査基準に則って発行され、また監査機関により定められた監査に合格した電子認証事業者のみが発行できる、最も信頼性の高いSSL/TLS証明書
クライアント証明書	ユーザのデバイス(PCやスマートフォン等)に証明書をインストールし、そのユーザが正規の利用者であることを認証する電子証明書。大きく「ユーザ証明書」と「デバイス証明書」の2種類となる
デバイス証明書	スマートフォンやタブレットなど、情報端末に発行される。社内ネットワークへのアクセス権を「証明書の入った端末のみ」と制御することで、権限のない情報端末によるアクセスを防ぐ
ユーザー証明書	社員証やシステムログインカードなど、個人を認証するために用いられる

用語	説明
マルチドメイン証明書	異なるドメインを含む FQDN であっても、Subject Alternative Names (SAN) の領域に登録して複数のドメインに利用することができる証明書
ワイルドカード証明書	同一ドメインの異なる複数サブドメインに対して 1 つの証明書で利用可能な証明書
SSL化	Webサイトとそのサイトを閲覧しているユーザとのやり取り(通信)を暗号化すること
FQDN	Fully Qualified Domain Nameの略でDNS(Domain Name System)などのホスト名、ドメイン名(サブドメイン名)などすべてを省略せずに指定した記述形式のこと。通常、一つのFQDNについて複数のサーバーが設定されている。FQDNの例としては、www.cybertrust.co.jp(www=ホスト名、cybertrust.co.jp=ドメイン名)。
組込み	特定用途向けに特化、限定した機能を果たすことを目的とした機器およびシステム。携帯電話やカメラなどの電子機器や家電製品・自動車等
Linux	無償でソースコードが公開され、誰もが利用・複製・改変・再配できるオペレーティングシステム。必要な機能を選択して再構築できることから、サーバーや組込みシステムとして電化製品などの幅広い用途に利用されている
OS	オペレーティングシステムの略称。コンピューターのシステム全体を管理し、種々のアプリケーションソフトに共通する利用環境を提供する基本的なプログラム
OSS (オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードが無償で公開されており、誰でも使用及び改良や再配布ができるソフトウェア

用語	説明
Linuxディストリビューション	Linuxカーネルとその他ソフトウェア群を1つにまとめ、利用者が容易にインストール・利用できるようにしたもの
統合監視ツール	サーバーが正常に稼働しているかどうか、サーバーから稼働情報を取得することで、稼働状況を把握・分析するためのツール
リアルタイム(RT)OS	一般的な汎用OSと違い、リアルタイム性を重視した、組み込みシステムで多く用いられるOS
RHEL	Red Hat Enterprise Linuxの略。Red Hat社によって開発、販売されている業務向けのLinuxディストリビューションのこと。
CentOS	RHELと高い互換性を持つコミュニティベースの無償LinuxOS
OSSコミュニティ	オープンソースソフトウェア(OSS)の開発や改善、情報交換などを主な目的として、利用者、開発者、愛好者らによって構成され非営利目的で運営される団体。世界中に散在するメンバー間でソースコードを共有し、共同開発や関連情報の発信、勉強会の開催などを行っている
VAR	付加価値再販業者。販売するサービスの一部として、デバイスIDを組み込んだり、オプションとして選べるようにして販売するパートナー契約のこと。

製品名対照表

機能	正式製品名	本資料における略称
【認証・セキュリティ】		
SSL/TLSサーバー証明書	SureServer	SureServer
端末認証	サイバートラスト デバイスID	デバイスID
認証局アウトソーシングサービス	サイバートラスト マネージドPKI	マネージドPKI or MPKI
本人確認	iTrust 本人確認サービス	iTrust
電子署名用証明書	iTrust 電子署名用証明書	iTrust
電子署名	iTrust リモート署名サービス	iTrust
【Linux/OSS】		
サーバーOS/クラウド基盤	MIRACLE LINUX	MIRACLE LINUX
統合監視	MIRACLE ZBX	MIRACLE ZBX
【IoT】		
IoT向けLinux	EMLinux	EMLinux
IoTトラストサービス	Secure IoT Platform	SIOTP

製品・サービス紹介ページ一覧

製品・サービス紹介ページ	URL
サイバートラスト株式会社Webサイト	https://www.cybertrust.co.jp/
【認証・セキュリティ】	
SureServerサービス	https://www.cybertrust.co.jp/sureserver/
サイバートラスト デバイスIDサービス	https://www.cybertrust.co.jp/deviceid/
iTrustサービス	https://www.cybertrust.co.jp/itrust/
【Linux/OSS】	
MIRACLE LINUX製品	https://www.cybertrust.co.jp/miracle-linux/
CentOSサポートサービス	https://www.cybertrust.co.jp/centos/
MIRACLE ZBX製品	https://www.cybertrust.co.jp/zabbix/
MIRACLE VulHammer製品	https://www.cybertrust.co.jp/zabbix/vul-hammer/
【IoT】	
EMLinux製品	https://www.cybertrust.co.jp/iot/emlinux.html
セキュア IoT プラットフォームサービス	https://www.cybertrust.co.jp/siotp/index.html

プレスリリース一覧(FY21 Q3)

【認証・セキュリティ】

都築電気の電子契約サービス「DagreeX」が サイバートラストのトラストサービス「iTrust」を採用
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1025-dagreeex-itrust.html>

三井不動産の法人向けシェアオフィス「ワークスタイリング」が 最高レベルのセキュリティ認証を取得
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1110-workstyling-office-security.html>

トラストサービスのサイバートラストと生体認証による本人確認の Liquid が協業
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1124-liquid-ekyc-itrust.html>

TeraDox の電子契約サービス「契約大臣」が サイバートラストの「iTrust」を採用
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1201-teradox-itrust.html>

ITbook XCloud の電子契約サービス「DX-Sign」がサイバートラストの「iTrust」を採用
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1208-itbook-xcloud-itrust.html>

サイバートラスト、端末認証サービス「サイバートラスト デバイスID」の「Microsoft Intune」対応により、企業の安全なテレワークやクラウドサービス利用を支援
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1214-microsoft-intune.html>

サイバートラスト「iTrust リモート署名サービス」に、アマノタイムスタンプサービス機能を採用
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1215-amano-timestamp-itrust.html>

【Linux/OSS】

さくらインターネットとサイバートラスト、CentOS 8 とバイナリ互換を維持した「MIRACLE LINUX 8.4」をさくらのクラウドで提供開始
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1014-sakura-cloud-miraclelinux.html>

CentOS の後継として利用可能な MIRACLE LINUX 9 の無償公開を決定
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1216-miraclelinux-license-free.html>

サイバートラスト、CentOS 7 のメンテナンス更新終了後の修正パッケージと日本語での技術サポートを提供決定
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1216-centos7-extend-support.html>

【IoT】

サイバートラストと会津大学がグローバル人材育成に向けて産学連携
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1007-aizu-university.html>

サイバートラストの IoT 関連ソリューションが、第三者機関の国際標準規格レベルの評価検証に基づくセキュリティ基準に適合
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1020-secure-iot-platform.html>

急成長するエッジ AI 環境に必要なセキュリティ機能をパッケージ化し「EM+PLS」を提供開始
<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2021/1104-secure-edge-empls.html>

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を 含みます
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結 果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および 国際的な経済状況が含まれます
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等につい て当社はこれを保証するものではありません
- 本資料に記載されている当社ならびに第三者の商品またはサービスの名称等は、各社の商標または登録商標です。「SureServer」、「iTrust」、「MIRACLE LINUX」及び「MIRACLE ZBX」はサイバートラスト株式会社の登録商標です。「DagreeX」は都築電気株式会社の登録商標です。「契約大臣」は株式会社TeraDoxの登録商標です。「DX-Sign」はIT bookホールディングス株式会社の登録商標です。



信頼とともに